

定例会の概要

常任委員会Q&A

●特殊勤務手当に関する条例の改正「コロナ関係対応の手当」

Q 金額はどのように決めるのか。

A 疑い患者の受付、会計担当は千円。放射線等の短時間対応、2千円。外来患者で疑いがある場合の診察、3千円。体に接触する医師、看護師は4千円の手当。それぞれ1勤務について支給。

Q 救急車で搬送時、職員数は。また、その手当は。

A ドライバー1名、対応者2名。症状により、4名もある。ドライバーは、3千円。

Q 患者対処する職員は、4千円。発熱外来に対応する職員は決まっているのか。

A 発熱外来としての専任はいない。対象の患者が来た場合に看護師が対応する。すべての職員が対応できるようにしている。病院長、看護婦長、事務で詰め、記録表など準備する。

税条例の改正

Q 制度の適用を受ける場合には、自己申告となるのか。

A プライバシーに係わることもあり自己申告となる。

Q 事業者や市民への周知は。A 来年の1月までなので周知していく。

過疎地域自立促進計画の変更

Q いつまでの計画か。A 令和2年度まで。

Q 古川町で計画のある農産物直売施設はなぜ対象になるのか。

A 飛騨市として対象地域のため、過疎債事業に該当する。

手数料徴収条例の改正

Q マイナンバーカードを持たない方はどうなるのか。

A 通知カードは引き続き、確定申告などに使える。

子ども予防接種助成条例の改正

Q 満18歳とは、働いていても対象になるのか。

A 対象になる。

Q 助成は窓口対応か。A 中学生・高校生ともに医

療窓口で2,200円を除いた金額を支払う。

特定教育・保健施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例の改正

Q 特定教育・保育施設とは。A 飛騨市が認めた幼稚園、保育園。

Q 市内に対象施設は何ヶ所あるのか。A 民間保育所、公立保育園の計8カ所。

家畜診療所の条例改正

Q 採血技術料はいくらか。A 1件680円となる。

ひだ流葉スキー場など指定管理者の指定

Q 審査の評価点が高い理由は。

A 有資格者の必要人員が確保されていること。地元からの信頼が非常に厚く、地元関係者、外部有識者からの協力を取り付け、協議会を設置し企画を盛り上げていくことなどの提案があった。

Q 指定管理料が高額。顧客獲得に向けた戦略は。

A スキー場は年間1,500万円。Mプラザほかで2,300万円。索道のメンテナンスに費用が必要となるが、広い交友関係を生かし企画・運営を図る。流葉の根強いファン層を中心に情報発信を行う。

Q 指定管理者からの納入金の使途は。

A 基金の設置などを検討し、目的に沿って一般財源として繰り入れて、市の負担の平準化を図る。



予算特別委員会Q&A

総務部

Q パートとなる会計年度任用職員は、時短勤務となるが事務量は適正か。

A 事務量に対して各部署と協議し問題はない。

Q 新型コロナウイルス禍での税金徴収について。また、その周知は。

A 今年度は前年同月と比べ概ね20%以上減収の事業者、個人に対し税金の徴収猶予を行っている。今後、収入状況で全額免除の場合もある。国

から詳細な発表がまだないが年末調整に合わせ、詳細が出た時点で周知する。

消防本部

Q 小型動力ポンプ積載車、及び小型動力ポンプの更新は。A 積載車は20年を23年、動力ポンプは20年で更新。ただし十分使えるものはその都度判断する。

市民福祉部

Q 健康診断が遅れている。今年度中に出来るか。

A 5月予定の特定検診は出来る。

Q がん検診も今年度中に出来るか。

A 完全予約制としたため、調整しきれない。受診できない方は、来年度、対象とする。

環境水道部

Q ごみ袋が破れやすいとの情報を把握しているか。

A 市民から圧着部分が弱いとの情報があった。強度は、JIS規格で行っているが引張試験も追加した。規格内で問題ないが現物確認も実施する。

Q 中国製が入手できない状況で国産は価格が高い。どうするのか。

A 安定供給ができ安価なもので進める。

決算特別委員会Q&A

総務部

Q 河川9カ所に設置する水位計はどんな水位計か。

A 10分間隔で計測する電波式の測定器。

Q 自治体アプリで水位を確認することができるが、導入予定はないか。

A 採用する場合は検討する。

Q 市民税などの滞納者はどのくらいいるのか。

A 平成元年度は市民税129人、法人税2社、固定資産税155人、軽自動車税38人。

Q 滞納の原因は。

A 破綻や失業、市外への転出により連絡が取れないなど、様々な理由がある。

Q 長時間労働の改善取り組みで支出金額の減少は。

A 平成30年度と比較し、107万円の削除となった。

Q ストレスチェック診断により高ストレス者が61人。うち6人しか医師面談を行っていない。対応は。

A 個人情報のあることもあり通知書に医師面談の案内通知を入れている。面談は本人判断になる。

Q 選挙ポスター掲示板がベ

ニヤ板であり検討することになったが、どうなったか。

A まだベニヤ板のままであり、今後検討する。

Q 公共施設の転用や廃止等の仕分けによる量的・コスト的縮減目標はどのように進めるのか。

A 検討委員会を職員で構成。4地区に分け施設の現状確認、複合化などについて検討している。

企画部・振興事務所

Q 飛騨市への移住者は何名か。

A 昨年度は65世帯、111人。

Q 地域おこし協力隊の人数は。

A 令和元年度は2名。広葉樹活用と薬草の推進各1名。

Q 池ヶ原湿原に常設トイレの計画はあるか。

A 課題と捉えている。検討する。

Q 集落支援員も交付税の対象か。支援員の期間は3年か。

A 地方特別交付税の対象。支援員の期間に定めはない。

Q 山之村の蕨粉は、安定的に生産できるか。

A 大々的に採れるものではない。まだ時間がかかる。

Q 8月の関係人口シンポジ

A 都市部と飛騨市をオンラインでつなぎトークセッションを行った。

Q 天生湿原の鳥獣被害対策は、市も関係しているのか。

A パトロールの方が中心だが、市職員も一緒に電柵の設置と取り外しを行っている。



天生県立自然公園

市民福祉部

Q 不妊・不育症治療費等助成は限度額が少ないのではないのか。

A 年5回の人工授精の補助となり妥当と考える。

Q 外国人がコロナ影響で入国できない。医療・介護人材確保の状況は。

A 技能実習生3名。EPAインドネシアの方が2名いる。サンビレッジの留学生の受入

れは有効。

Q 緊急通報装置設置事業とは。

A 緊急時にボタンを押すと業者へつながる機器を設置。連絡先に親族やご近所、民生委員などを登録。288世帯に設置。

Q 年度途中に未満児保育の受け入れは可能か。

A さくら・増島・宮城・双葉保育園が可能。

Q 保育士は足りているのか。

A 神岡町は足りない。

Q 医師の給与ベースは。

A 市の条例に基づいて決まっている。

Q 衣類をリサイクルしているが、可燃ごみは減っているのか。

A あまり変わらない。衣類回収は総量5・4トン、全体の0・07%。リサイクルは、意識啓発の目的がある。

Q クリーンセンター火災訴訟が長引いている要因は。

A 何が原因で、どのように発火したのか専門的な検証に時間を要している。

Q 今回の決算を踏まえ、水道料金の見直しの再検討は。

A 長いスパンで見ると料金収入が減ってどんどんキャッ

シュフローが悪化する。10年間の内に2回、2割程度の料金改定をしないといけない。値上げを遅らすと財政が悪化するのを理解していただき、進める。

商工観光部

Q 今でも聖地巡礼客は来ているのか。

A コロナ禍でも個人客は多く来ている。

Q コロナ禍でのロケツアー情報発信は。

A オンラインでのロケ地PRやコロナ対策をしてロケ班ツアーを行っている。

Q 飛騨市宿泊事業者緊急対策事業の状況は。

A 制度は6月末で終了。決算は295万2千円、625人泊分。

Q 安心安全の宿応援事業補助金の状況は。

A 10,348人泊で、3,069万3千円。

Q この補助事業は9月で終了するのか。

A 一旦9月末で終了する。今後も新たな策を検討する。

Q 市内宿泊事業者のGOTOへの参加者が少ないのでは。

A ネット登録であり、登録に対する支援を行ったが参加希望者が増えなかった。

定例会の概要



道の駅アルプ飛騨古川

Q 飛騨市ビジネスサポートセンター利用が神岡町は少ないが何故か。

A 神岡町は、よろず支援拠点を活用している。

Q 来年度もビジネスサポートセンターを神岡町も含め進めるのか。

A 先生の予定をみながら神岡町にも出向き、来年度以降も継続する。

基盤整備部

Q 道の駅管理事業での3箇所の管理費は。

A 修繕料、消耗品費、電気料などで道の駅負担金も含まれている。宙ドーム神岡は、390万円、アルプ飛騨古川は、380万円、いぶしの里は、230万円。

Q 道の駅の機能のひとつに情報発信とあるが、その基準などは。

A 道の駅は、情報発信、公衆トイレ、地域振興施設の3つを備えたものであり、道路情報や観光情報を中心に幅広い情報を提供。市内3箇所の道の駅は、管理形態が異なり、いぶしの里は、冬期閉鎖となる。

Q 危険ブロック塀撤去は所有者申請なのか。

A 通学路を中心に調査し危険箇所を把握、所有者に説明した。平成30年度は2件、令和元年度は3件撤去。今年度は3件撤去予定。

Q 公共施設特定天井の耐震改修工事は。

A 建築基準法の特定天井の耐震基準を満たしておらず改修が必要、工事費や工法も含め担当部署と詰めながら進める。

Q 神岡町川西地区の消雪装置の水の出具合が悪い。その対応策は。

A 地下保水力によって左右され、元通りに復旧するのは難しく、調整しながら対応していく。除雪対応も必要となるかもしれない。

農林部

Q 試作した広葉樹小径木製品は市場に出回っているのか。

A ネット販売が中心。市内でも販売できるよう検討したい。

Q 市役所応接室の木質化は、使われている木が少ないように思われるがいかがか。

A 斬新な部分や新しい使い方も含まれ、広葉樹のPRには効果的である。今後は床や壁に使うことも検討する。

Q 森林環境譲与税の用途は。

A 森林整備促進事業に使われ、普及啓発PRや機械購入にも充てられる。

Q 飛騨育ち飛騨牛をPRしているが、販売店の協力は得られているのか。ラベルデザインの著作権はどこの所有か。

A 県内で14カ月以上育てられたA3以上が飛騨牛で、流通の関係で参加していない販売店もある。他との差別化をしていきたい。ラベルデザイン



飛騨牛ラベル

ンの著作権は飛騨市が購入。3市1村の販売店には必要に応じて随時提供する。

Q 飛騨地鶏を販売する店が古川町内には無いが、ブランドینگしていくのか。

A 神岡町内に養鶏場があるため神岡町の飲食店7件で提供、最近は味処古川でも提供している。運営は民間業者が行い、飼育方法も改善されブランドینگに向けての体制がようやく整った。提供飲食店を開拓するなど、一般の方にも分かるようPRに努める。

教育委員会

Q 小中学校の特別教室への空調設備の設置は。

A 各教室の温度調査の結果を踏まえ、今後検討する。

Q コミュニティー助成の内容は。

A 宝くじによる助成で以前から申請していた吉田公民館が該当した。

Q 観光資源となる山城はいくつあるか。

A ふもとから訪れやすい所は、古川城、野口城、小島城などがある。

Q スクールバスの市民団体利用は。

A 22件の利用。部活動、子供会、少年団などで、市民団

体の利用は、ほとんどない。

Q 美術館の常設展示の考えは。

A 収蔵品が少ないことから企画展の中で収蔵品を展示する。飛騨の文化を見せる、技術を守る、作品と人の交流をコンセプトとして行う。

Q ツーデーウォーキング参加者減少の理由は。

A 毎年同じコースでマンネリ化していることが大きな原因。クアオルトウォーキングと合わせての募集などを検討する。

Q 小学3・4年生の英語教育の現状は。

A 歌、音楽を通して楽しんで聴きながら、話そうという姿勢が見て取れる。5・6年生は読む、書くまで行う。

Q 給食センター調理員の確保対策は。

A 賃金単価を約200円アップした。また、地域の方でフルタイムでなくても働きたい時間帯で働けるよう改善。

Q 給食費返還の内容と対策は。

A 調理用牛乳の仕入れに2重払いが4年分で347件あった。給食センターと本庁のコミュニケーションをしっかりと図るよう改める。